

連携・協働のカ・タ・チ

令和3年6月30日発行 福島県教育庁会津教育事務所



ボランティアルーム開設!

＝会津坂下町立坂下東小学校の取組＝

前号では、会津坂下町幼稚園長小中学校長会が行っている、おじいさん、おばあさんが、学校や孫を応援する「GBたすけ隊」の会津坂下町立坂下南小学校での活動の様子を紹介しました。

今回は、会津坂下町立坂下東小学校の「ボランティアルーム」の取組を紹介します。

坂下東小学校には、「GBたすけ隊」など、たくさんのボランティアの方々が来校され、様々な活動をしています。坂下東小学校では、昨年度、校内に「ボランティアルーム」を開設して、ボランティアの方々の居場所づくりをしています。



ソファとテーブルを置いて、ゆったり過ごすことができるようにしています!



ボランティアルーム設置のメリット!

余裕教室等を利用して、「ボランティアルーム」を設置することにより、校内にボランティアの方々の居場所ができます。

- ☆ 打合せ場所になる。(教員との打合せのほか、ボランティア同士の情報交換もできる。)
- ☆ 活動の準備や後片付けの場所になる。
- ☆ 着替えの場所になる。
- ☆ 休憩場所になる。



🏠裏面：ボランティアを迎え入れる際の「5つのポイント」を御覧ください。

学校支援ボランティアの迎え入れ

先生方へのメッセージ

Point 1 ボランティアを全教職員で気持ちよく迎えましょう

笑顔であいさつを交わし、全教職員で気持ちよく対応をしましょう。

朝の打合せでボランティアの来校を伝えるなど、教職員間の共通理解を図ることが大切です。

学校支援ボランティアにとって、学校は気軽に出入りできる場所ではありません。学校を訪れた際に、先生方に笑顔であいさつされたり、明るく声をかけられたりすると心がほぐれます。積極的にあいさつをして心と心をつなぎましょう。

Point 2 ボランティアの居場所を用意しましょう

活動の準備や着替えのできる「ボランティアルーム」のような場所があれば望ましいのですが、職員室などの一角にソファを置くだけでもよいでしょう。

Point 3 ボランティアの気持ちを大切にしましょう

ボランティアの考えを尊重し、「思い」や「やる気」を十分引き出しましょう。

例えば、一緒に活動案を作るなどすれば、ボランティアの思いが活かされた活動につながっていきます。

Point 4 コミュニケーションの場を持ちましょう

学校支援ボランティアとのコミュニケーションの場をつくり、時には一緒にお茶を飲むなどして話をしましょう。お互いの思いが伝わり、スムーズな活動につながります。また、信頼感が生まれることで、活動に広がりや深まりがもたらされます。

Point 5 子どもたちにも説明しておきましょう

ボランティアの方が何のために来校しているのか、事前に子どもたちに説明しておきましょう。学校生活が地域の方々に支えられていることを、子どもたちに理解させることも大切なことです。

